

子ども健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)
論文概要の和文様式

雑誌における論文タイトル:

Advanced Maternal Age is a Risk Factor for Both Early and Late Gestational Diabetes Mellitus: The Japan Environment and Children's Study

和文タイトル:

母体の年齢と妊娠前半期および妊娠後半期の妊娠糖尿病(GDM)との関連:エコチル調査

ユニットセンター(UC)等名:宮城ユニットセンター

サブユニットセンター(SUC)名:

発表雑誌名:Journal of Diabetes Investigation

年:2025

DOI: 10.1017/S2040174424000126

筆頭著者名:田上 和磨

所属 UC 名:宮城ユニットセンター

目的:

妊娠糖尿病(GDM)を診断妊娠週数ごとに分類した上で、母体(妊婦)の年齢と妊娠糖尿病との関連を調査した。

方法:

72,270 人の妊婦を解析対象者とした。ばく露要因は妊婦の年齢とし、25 歳未満、25-29 歳、30-34 歳、35 歳-39 歳、40 歳以上に分類した。アウトカムは GDM 罹患の有無とし、妊娠前半期 GDM(妊娠 24 週未満に診断)と妊娠後半期 GDM(妊娠 24 週以降に診断)に分類した。既知の GDM リスク因子を調整項目とし、多項ロジスティック回帰分析を用いて妊婦の年齢と GDM との関連を検討した。

結果:

妊婦の年齢が高いほど、妊娠前半期 GDM と妊娠後半期 GDM のリスクが高い傾向であった(P for trend はそれぞれ < 0.0001 、 < 0.0001)。妊婦の年齢 30-34 歳を基準とした場合、妊娠前半期 GDM の調整オッズ比(95%信頼区間)は 35-39 歳で 1.399(1.134-1.725)、40 歳以上で 2.494(1.828-3.402)、妊娠後半期 GDM の調整オッズ比(95%信頼区間)は 35-39 歳で 1.603(1.384-1.857)、40 歳以上で 2.276(1.798-2.881)であった。

考察(研究の限界を含める):

妊婦の年齢が高いほど GDM のリスクが高いことは、先行研究と一致している。本研究は、妊婦の年齢が高いほど妊娠週数に関わらず GDM のリスクが有意に高い傾向を示した初めての研究である。周産期管理においては、妊婦の年齢が高いほど、妊娠週数に関わらず GDM のリスクが高まることに注意が必要であると考えられる。本研究の限界として、経口ブドウ糖負荷試験の値が得られていないこと、糖尿病の家族歴に関するデータが収集されていないことが挙げられる。

結論:

妊婦の年齢が高いほど、妊娠前半期および妊娠後半期の GDM のリスクが高くなる可能性があり、妊娠前半期の GDM と妊婦の年齢との関連は、後半期の GDM と年齢との関連と類似していた。